



～2024-25年度主題～
 国際会長 チャーミング・シェン (台湾)
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港)
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C)
 湘南・沖縄部長 久保勝昭 (横浜つづみC)
 クラブ会長 鈴木 茂

“Sunshine and Smile”
 “Make a Great Impact”
 “Our Future Direction”
 “共に出会い、共に喜びを！”
 “受けるよりも、与えるは幸いなり”

～今年度クラブ役員～
 会長 鈴木 茂
 副会長 坂口 直樹
 書記 大野 君枝
 会計 鈴木 恭子
 直前会長 今城 高之
 監事 辻 剛

今月の聖句

終わりに、兄弟たち、すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて名誉なことを、また、徳や称賛に値すべきことがあればそれを心に留めなさい。

フィリピの信徒への手紙4-8

巻頭メッセージ

2024-25年度クラブ会長に就任して

2024-25年度クラブ会長 鈴木 茂

2024年度～2025年度会長主題として、「受けるよりも、与えるは幸いなり」を掲げさせていただきました。この言葉は、明治20年に大阪YMCAの第2代会長に就任した本間重慶が、明治21年10月3日号の「基督教新聞」に掲載した「日本における基督教青年会」と題する論文の中で、YMCA会員の心構えとして特に強調した点でありました。本間重慶は同志社出身の牧師でしたが、草創期の日本のYMCAにあって、的確なYMCA論を展開した当時のYMCAの理論的リーダーでありました。



本間重慶は標記の金言を通して、YMCAの会員に最も求められる点は、積極的な奉仕の精神に基づく会員活動であると訴えました。この言葉は、YMCAの会員であると同時にワイズメンズクラブの会員でもある現代の私たちも、素直にかつ真剣に受け止めなければならない言葉であると思われます。

私たちが毎例会で唱えるワイズの信条にも、「・・・隣人を愛そう」、「・・・YMCAにつくそう」、「・・・国際親善をはかろう」、「義務をはたしてこそ・・・」、「・・・社会には奉仕第一を旨としよう」と、各条に「与える」ことを意味する“奉仕”を呼びかける文言が出てきます。

「与える」と言うことはこのように、具体的には「ワイズの仲間のために」、「YMCAのために」あるいは「世の中の人びとのために」、自分の時間、知力、労力、資力等を提供することだと考えます。

しかしながら、私たちのクラブや近隣の親しいクラブの現状を見ますと、メンバーの高齢化や人数の伸び悩みで、クラブの体力、気力が低下していることは否めません。だからこそ、そうした厳しい状況の中で、私たちにできる奉仕活動は何かを考え、共に行動することが私たちの務めだと考えます。

一方、ワイズメンズクラブは懇親団体でもあります。メンバーは一人ひとり性格も価値観も異なり、クラブの運営に意見の違いも生じますが、そのような時こそ、新しい理解と合意へ結びつける努力と知恵を発揮して行きたいと思えます。そうした努力と知恵を通して、有意義なクラブ生活が生まれるのだと思えます。奉仕と懇親が結びつくクラブ活動が私たちの目標であります。むしろ、クラブの奉仕活動を通してメンバー間の懇親を深めたいと考えます。

具体的には、例会での学びと交流を大切にするとともに、YMCAへの奉仕活動、You & I コンサート、被災地支援活動 (TKB) を中心とする地域奉仕・Yサ活動に、引き続き誠実に取り組みたいと思えます。皆さまのご協力をお願い致します。

(完)

7月本例会

日時 7月26日 (金) 17:30～
 場所 かけはし都筑
 司会 辻 剛、受付・記録 坂口 直樹

～プログラム～

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・信条唱和 一同
3. 今月の聖句・祈祷
4. 会長挨拶
5. ビジター・ゲスト紹介
6. クラブ総会 (議長:会長)
7. 役員就任式 司式 久保部長
8. 湘南・沖縄部 部長公式訪問
久保勝昭 湘南・沖縄部長
9. YMCA報告 森山館長
10. Happy Birthday
7/11 岡田美和
7/17 坂口直樹
7/31 今城高之
11. アピール等
12. 閉会点鐘 会長

※閉会后、最寄りの場所にて懇親会食会を開催いたします。

例会報告：2024年7月度事務例会

日時：2024年7月9日（火）17:00~19:00
@夢Café

出席：今城T・H 大野 岡田 坂口 鈴木K・S 辻Ts
森山、横田

1. 開会点鐘・黙祷。
2. 会長挨拶：新年度の始まりにあたり、皆の協力をお願いしたい旨、述べられた。
3. 協議事項
 - 1) 2023年度~24年度の振り返りについて：ブリテン7月号に掲載
 - 2) 2023年度~24年度決算報告について：横田孝久直前会計より、監査終了後改めて報告する旨の発言があった。
 - 3) 2024年度~25年度活動方針について：鈴木 茂会長 別紙にて報告
 - 4) 2024年度~25年度行事予定について：鈴木 茂会長 別紙にて報告
 - 5) 2024年度~25年度役割分担について：鈴木 茂会長 別紙にて報告
訂正箇所あり、本例会に改訂版を提出。
 - 6) 2024年度~25年度クラブ運営体制について：鈴木 茂会長 別紙にて報告
訂正箇所あり、本例会に改訂版を提出
 - 7) 2024年度~25年度予算について：7/26日の本例会にて提案・審議する旨報告
4. 今後のクラブ行事予定
 - 1) 7月本例会・総会及・部長公式訪問：7月26日（金）17:30~19:00
役員就任式を部長司式の下に行う。
 - 2) コンサートキックオフミーティング：出席：みんなの家（上滝さん、中村さん）えだ福祉ホーム（松岡さん）北Y（森山さん）つづきクラブ（運営委員長：鈴木、会計：大野、事務局：横田、今城高之）
・会計を横田さんから大野さんに引き継ぐこととなった。
・開会の挨拶を水谷先生（アーモンド）に、祝辞を都筑区社協代表者に依頼する。

- 3) 8月本例会・納涼会：8月23日（金）17:00~ @夢Café 会費1500円とし、ケータリングを利用するが、持ち寄りも歓迎。詳細はTKBで打ち合わせ。
- 4) 前期半年報提出期限は7月10日。区費納期は8月15日につきクラブ会費の振り込みを早急に
- 5) 9月本例会（9/27）はコンサート前日であるため休会とする。
5. YMCA・部・他クラブ行事
 - 1) 鎌倉クラブ：歌舞伎観劇会（8/16）申し込み期限は7/12。
 - 2) 横浜クラブ：納涼会（8/22）カフェドアラプレス申し込みは鈴木会長まで。
 - 3) 横浜YMCA：AIDS文化フォーラム 8/2~4 @神奈川県民センター（報告担当：岡田）チラシは本例会で受け取る。
 - 4) YMCAフェスタ：9/23（月・祝）戸塚YMCA（報告担当：今城宏子）
 - 5) チャリティーラン：10/19（土）臨港パーク（報告担当：坂口）
 - 6) 湘南・沖縄部大会：10/26（土）湘南とつかYMCA（報告担当：今城高之）
6. アピール・報告
 - 1) 湘南・沖縄部：第1回部評議会 7/27（土）@湘南とつかYMCA：出席義務者を確認したY-Y's協議会9/3（火）出席自由。
 - 2) クラブ活動：TKBカード作り 7/17（水）13:30~ @夢Café
7. YMCA報告：森山担当主事よりチャリラン募金のTシャツ販売開始とのお知らせ。
8. アピール：2024年~25年度会費振り込み依頼：半年分@18,000円
横浜銀行菊名支店普通口座1330228
口座名：横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ

以上（今城宏子記）

6月のデータ



例会出席	16名	在籍会員数	16名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	13名	月間出席者数	13名	スマイル	0円	30,153円
ビジター	0名	メ-キャップ	2名	-	-	-
ゲスト	3名	月間出席率	93%	-	-	-

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

例会報告：2024年6月度本例会

報告者：今城宏子

日時：2024年6月28日（金）17:30~19:00

@かけはし都筑

出席：今城T・H エスキルドセン 大野 岡田 坂口、鮫嶋

鈴木K・S 辻Ta・Tu 森田 横田

(ゲスト) 朝香好平さん 岩田由江さん 鮫嶋紘孝さん

司会：鈴木 茂 受付・記録：今城宏子

1. 会長による開会点鐘に続き、ワイズソングとワイズの信条を唱和した。

2. 今月の聖句と相賀先生による祈禱を会長が代読。

会長挨拶：今年度最後の本例会に際し過ぎた一年間のご協力に感謝。今後は鈴木会長を支えてまいります。

3. ゲスト・ヴィジター紹介：

辻 剛さんから卓話者の朝香好平さんの紹介があった：

「コリトル」整体師、NPO「転倒予防医学研究会」活動、トランペット、ゴルフ愛好家等多才多趣味の方。経歴等、詳しくはブリテン5月号に掲載されている。

4. 卓話：「ボランティア活動との出会い」

母は看護師、父は機械設計士の下に育つ。父の仕事の関係で小学校は転校多数。中学でトランペットに出会い、音楽の道を志すも音楽高校受験で挫折。定時制高校に通いつつNEC田町に勤務した。その間に心理学者の小南奈美氏に出会い師事。

・水は「ことば」の鏡：書いた文字に波動がある。「ありがとう」は美しい、悪い言葉は醜い波動。

・ことばの力：日本ホリスティック医学会（自然療法－薬や手術に頼らない）の帯津良一医師は患者が元気になる言葉を用いる。

・青葉台病院の富田恭弘医師は患者さんが不安になる言葉を発しないこととしておられる。

・「ひととはなにか」について：

ヒト＝細胞の塊→分子→原子→原子核。ソマチットとは動物植物を問わず、全ての生命体に宿る意思、知性を持った微小生命体。細胞同士が会話をしている、その役割を果たすのがソマチット

ことばの力は感じる人と感じない人がいる。波動の話として太鼓集団「鼓粹」のことなど。

・今からできる転倒予防の筋活について

・認知症対策としての回想法について

・メンタルヘルス：自己表現の大切さ。輝く場を創る。目標をもって次は何をしようと考えること

は良い生き方。考えて行動していく。ただし、プレッシャーがか

りすぎると、どこか悪くなるから気を付ける。自分が楽しくなければ周囲も楽しくない。そのようにしてボランティアを続けている。

・質疑応答

Q. 転倒を防ぐには？

A. 自宅内が一番多い。つまずかないように整理整頓。スリッパは履かない。

Q. 高齢者の病について

A. ネガティブな人はどんどん悪くなる。ポジティブ→リハビリ→良くなる。

5. 協議・報告事項

YOU & コンサート進捗状況

・例年より2か月早い開催に備え、7/9の事務例会の前に運営委員会（キックオフミーティング）を開催する。

・チラシは3,000枚印刷。各自、担当の20枚以外の希望枚数をメールにて連絡する。

6. 今後の行事予定

・7/9（火）事務例会、7/26（金）本例会・部長公式訪問、7/27（土）第1回部評議会

・8/2~4 AIDS文化フォーラム、8/22（木）横浜クラブ納涼例会（鈴木会長申し込み纏め）

・8/23（金）本例会・納涼会

・9/3（火）第103回Y-Y's協議会（当クラブ担当）

・9/10（火）事務例会

・9/23（月）YMCAフェスタ

・9/28（土）第12回YOU&I コンサート

・10/8（火）事務例会、10/19（土）YMCAチャリティーラン

・10/25（金）本例会

・10/26（土）湘南・沖縄部 部大会

7. YMCA報告

6/24~28 カンジュYMCAから5名の短期研修生を迎え、3泊のホームステイを含むプログラムを完了。

8. OHAPPY BIRTHDAY

エスキルドセンさん（5/4）、鈴木茂さん（5/21）、横田さん（6/10）、大野さん（6/21）

9. アピール・スマイル

横田ワイズの退会報告がされ、区への届は現会長が提出する。

10. 会長による閉会点鐘をもって閉会、終了後、最寄の場所にて懇親食事会が行われた。（以上）

以

特別報告

2023-24年度 湘南・沖縄部 第3回部評議会

今城高之 記

日時: 2024年6月22日(土) 15:00~17:05

場所: 湘南とつかYMCA 1階講堂

参加概要: 出席19名、委任状 12名 合計31名 及び
辻監事

第1回部評議会プログラム 司会 古田 部書記

1. 開会点鐘 黒川 部長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 聖書朗読、開会祈祷 阿部 部担当主事
4. 部長挨拶 黒川 部長
5. 出席者確認及び評議会成立要件確認 司会者
6. 議事 議長 黒川 部長

第1号議案 湘南・沖縄部名称変更について

黒川部長提案 承認

第2号議案 次次期部長選考について

黒川部長提案 承認

第3号議案 2024-2025年度部長方針と
事業計画(案)について

久保次期部長提案 承認

第4号議案 次期部役員について

久保次期部長提案 承認

第5号議案 新クラブ設立準備委員会設置の件
取り下げについて

黒川部長提案 承認

第6号議案 新クラブ設立準備会設置について

黒川部長提案 承認

第7号議案 横浜とつかクラブの解散かいさんにつ

黒川部長提案 承認

7. 報告・連絡

- 1) 部長報告
- 2) 各事業主査報告
- 3) 各クラブ活動報告
- 4) YMCA報告他

8. 監事講評

辻 監事

辻監事から、①7つの議案があったが、ほぼ定刻通りに終了した。会議運営は良かった。②黒川部長は忙しい中、区や部の会議等に良く出席され、部活動は正常に機能した。部内の交流、YMCAとの協働、とりわけ、会員増強では、区内で一番の成果を上げたことに感謝する、との講評があった。

9. 閉会点鐘

黒川 部長

北Yだより

横浜北YMCA 健康教育部 宮沢 仁

横浜北YMCAでは日頃より多くの子どもたちがプールや様々なスポーツプログラムに参加をしてくれています。子どもたちは4月より新学期が始まりましたが、約3か月が経ち、新しい学校生活にも慣れてきている様子がYMCAのプログラム参加時にも見られます。

子どもたちは、今月から学校の夏休みになりますが、今年の夏も様々な経験をすると思います。YMCAでは夏休みの期間で多くの家族が行かれる海や川など、水辺での安全についての取り組みを6月からスタートし、9月末までの期間において行います。毎年YMCAウォーターセーフティキャンペーンという形で行われる取り組みは、神奈川県下のYMCA全体で「着衣泳体験会」や「水泳体験会」を無料で実施しています。

特に着衣泳については、毎年多くの水難事故者がおり、子どもが溺れるケースも多くなっていることから大切な取り組みの一つとなります。近年では溺れた子どもを助けようとした保護者が亡くなってしまふケースもあり、大人も溺れないようにするための着衣泳体験が必要と考え、今年のキャンペーンでは家族、または大人でもご参加いただける体験会を実施するなど新しい取り組みも考えています。

着衣泳体験会の実施に向けては、先行して指

導者の研修を実施しました。体験会とはいえ、練習中に事故が起きないように、また担当する指導者がきちんとした知識を身につけ正しい指導ができるように研修に参加した全員で確認をしました。キャンペーン中のプログラムに参加する方々にとって、良い体験の機会となるように丁寧に準備を進めていきたいと思っています。

通年で行っているスイミングクラスの目的の一つにかけがいの命を育むということがあります。今夏実施するウォーターセーフティキャンペーンの取り組みの中においても、実施プログラムを通して命の大切さも併せて考えていただけるように、多くの方にYMCAの願いを伝えていきたいと思っています。(以上)



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

特別寄稿

第27回東日本区大会に参加して

大野 君枝

いまだ東日本区大会の内容も分らぬまま、今城会長の「十勝の大会は楽しいよー。美味しいアスパラガスが食べ放題だよ。」のお言葉で、私は彼の地への期待が俄然高まり「参加します！」と即答してしまいました。

前日から300を超す人々が全国から集合して来て、帯広駅前のビルには大会開催の大きな看板も掲げられ、雰囲気は盛り上がっていました。

快晴の当日は、高校生のマーチングや、とち帯広YMCA幼稚園児の可愛いリトミックダンスで始まり、各地クラブ代表がバナーを持って登上して来た時には初めてその数の多さに感動しながら、各表彰などに拍手を送りました。

記念講演は元南極料理人の西村淳氏が零下50度にもなる極地で苦労された食事作りが、越冬隊員の方々にどれだけ癒しと希望を与えられたかというお話で、珍しい映像と共に楽しく拝聴しました。そして最後は開催地の十勝クラブに感謝状が渡されて閉会になりましたが、その後の大晩餐会は本当に期待以上の温かいおもてなしで、ソーラン踊りなどのアトラクションも賑やかに、地産地消の食材はどれもこれも美味しかったです。もちろん採り立てアスパラガスは最高でお代わりを求める人の大行列でした。

また私達は、泥炭から湧き出るといふ十勝川ローム温泉にタクシーを飛ばして行ったり、緑鮮やかな大木に囲まれた真鍋庭園では北国の清々しい空気を胸いっぱい吸ったりして良き思い出作りをしました。

最終日は朝の聖日礼拝の後、バスでよつば乳業工場見学へ。有名な幸福駅にも寄って頂き、賑やかな音更市道の駅で買い物や昼食を済ませて、風薫る美しい大地に名残を惜しみながら自由解散となりました。

大会に初めて参加し、各クラブが長い道のりを胸を張って楽しみながら歩いて来られたこと。高齢者が凄いパワーのある団体であること。それらはキリストの愛の精神に支えられて来た

こと等を理解し、その仲間に加えて頂いた私にこれから何が出来るのだろうかと深く考えさせられました。

ただ発表される組織名、役職名等には多すぎて分からないことも多く、もう少しシンプルな体制にしたら良いのではないかと感じたり、活動報告だけではなく、先の夢や計画を皆さんにお聞きする時間も欲しかったです。会員減少問題については各々訴えておられましたが、帰りの機内で能登地震被災者だと言われる女性に「YMCAってまだあるのですか？」と聞かれてがっかりもしましたが、でも私の周りには誰かの役に立ちたいと望む方は数多くおられますので、これからも口コミで、行動で、ワイズメンズ&ウィメンズクラブの活動を広めて行かなければと思いました。

大会の為に心づくしの準備や運営をして下さった皆様には心からの感謝をお伝えしたいです。いつかまた緑豊かな十勝帯広を訪れる日を夢見ながら。 (以上)



(帯広市内「真鍋庭園にて」鈴木茂さんと)

TKB便り

7月のバースデーカードの絵柄は、七夕に因み天野川と織姫、彦星の折り紙をあしらいました。

カートが届けられる宮城県は、仙台の七夕まつりで有名ですが、関東の7月とは違い、東北では8月に祝われると聞いています。同じなばたでも違う月にお祝いをする地域があることを子どもたちが学んでくれればいいなと思います。

さて、TKBではこれまで、カード作りの他に、ウクライナ避難民の皆様を対象に、手編みのマフラーや帽子を差し上げて来ました。このプログラムも一段落したので、何か新しいプログラムを計画しようと考えています。これから皆で知恵を出し合い、話し合いをし、更には、国内、海外の仲間達とのコラボレーションも視野に入れた「何か」が出来ればとの思いを温めて、育てていければいいなと思っています。



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

2023-24年度活動の振り返り

今城高之直前会長が過ぎた1年間を振り返ります。

2023-24年度が始まった直前の5月、コロナ感染症が2類相当から5類に移行し、それまで厳しかった様々な規制が次第に緩和されました。我々の活動も、これまでの制限を徐々に解除し、従来の自由な活動に戻ろうとはしましたが、4年間に渡るコロナ禍の「後遺症」からそう簡単には解き放たれず、かつ、その間にクラブメンバーの高齢化も進み、一朝に旧来に戻る事がいかに困難かを思い知らされる一年でした。

昨年度の出来事を時系列的に列記し報告とます；
7月》事務例会（11日）。第1回部評議会（22日）には今城会長、鈴木副会長、辻部監事の三名が出席。本例会（28日）は第1回の総会を併催し、新役員、新方針、予算などが決まりました。同時に、部長公式訪問があり、黒川部長が参加されて役員就任式に立ち会われました。

8月》事務例会は休会。本例会（25日）を夢Caféで開催。YOU&Iのキックオフを併催。「えだ福祉ホーム」が運営委員会に加入。会終了後、その場所で納涼会。

9月》事務例会（12日）、本例会（22日）を開催。本例会では、横浜Yスタッフの石川さん、リアさんによるウクライナ支援の現状に関する卓話を伺う。

10月》事務例会（11日）、本例会（28日）を開催。第27回横浜YMCAチャリラン（14日）には、鈴木、横田、坂口、今城の4名が参加し、参加者受付窓口の任を負う。依然、規模縮小で午前中で修了。15日にセンター南駅頭での赤い羽根募金活動にクラブより3名参加。

11月》事務例会（15日）、本例会（25日）開催。12日に第11回You & Iコンサートを開催。多数のYMCAスタッフを含むボランティアの参加を得て、円滑かつ成功裏に終了。終了後、打ち上げ会で盛り上がる。16日にウクライナ避難民が集う「みどりクラブ」を訪問し、手編みマフラー・帽子など数十点を寄贈。併せて、横浜市の支援センターへも20点ほど寄贈。

12月》会長他2名がYMCA同盟本部を訪問し、同所に集うウクライナ避難民の方々の「YMCA手芸部」で使用する毛糸、端切れなどを贈呈。本例会（22日）では、終了後、ケータリングによるクリスマス祝会を行う。

1月》13日に行われたY-Y's合同新年会（@広東飯店）に1月例会で入会予定のロブさん夫妻を始め、鈴木S、今城T・H、鴨下も参加し、Robさん夫妻を皆に紹介。26日開催の本例会は、佐藤節子部会員増強主査、古田和彦部書記を迎えて鮫嶋幸和子さんの入会式を挙行。ロブさんご夫妻の入会式は、コロナ感染のため次月に延期。

2月》12日、横浜YMCA会員大会「ピースフォーラム」が開催

開催され、クラブからも参加。当クラブの鈴木茂、横田孝久、今城宏子の各ワイズも会員事業委員として司会を務める。本例会（23日）にてロブ・エスキルドセンさん、水谷裕子さんご夫妻の入会式を佐藤節子部会員増強事業主査立ち合いの下挙行。横浜YWCAの遠藤真理さん（横浜Y定義員）よりミャンマー支援チャリティーコンサートへの参加協力へのアピールがあった。終了後、ピンクシャツデーの記念写真撮影し、「ラ・メゾン」にて会食懇親。

3月》5日開催の第101回Y-Y's協議会に鈴木S、今城T、鴨下主事が参加。クラブの活動報告を行う。事務例会（12日）開催。本例会（22日）では、鈴木茂ワイズの友人、前山匡洋氏による卓話があった。民放TV局のプロデューサーであった氏より、TV番組制作の裏話を伺う。

4月》事務例会（9日）開催。本例会（26日）では中村靖さんによる「樹木がもたらす究極の安らぎ・樹木葬」の演題で卓話を伺う。富士山例会（5月）の準備を進める。

5月》本例会・富士山例会（17-18日）を4年ぶりに開催。横浜クラブ、つるみクラブ、さらには地元の富士宮クラブの参加も得て開催できたのは感謝。富士山YMCAでキャンプについての学び、BBQや懇親会を大いに楽しむ。帰路には東山荘を訪問し昼食と講話、最後に富士山の絶景を満喫する。

6月》北海道帯広市で開催された東日本区大会（1-2日）にはクラブより、鈴木、大野、辻、今城夫妻計5名のワイズが参加。他クラブからの大勢の参加者の皆さんとの交流を楽しむ。第102回Y-Y's協議会（4日）に鈴木S、今城T、辻Ts並びに森山担当主事が参加。他クラブメンバーとの交流促進、情報交換に努める。

最後に》冒頭にも書いた通り、新型コロナの5類以降とともに始まった今年度ですが、気持ちは急ぐも、数年間の規制下での活動が身につけていて、何かにつけへっぴり腰の感が強かったように思います。それでも、再開二回目のYou & I コンサート、4年ぶりの富士山例会と、主だったプログラムが無事遂行できたのは、クラブメンバー各位のやる気とお支えとの賜物と思っています。

人事の都合により、二年間会長を務めさせていただきました。正直、しんどく思ったことも多々ありましたが、新メンバーにも恵まれ、つづきクラブのポストコロナ再出発が何とか出来たと自負しています。鈴木茂会長の年度に移り、また新たなつづきクラブとして、活発に楽しく活動が続くことを心より祈っています。「受けるよりも、与えるは幸いなり」。鈴木会長の主題を実践しつつ、つづきクラブらしい、はつらつとした年度になるよう、一緒に頑張りましょう。（直前会長 今城高之）

“To acknowledge the duty that accompanies every right”